

第 1 部 主催の責となる中止即売会

(2015 年刊行「同人誌即売会中止！参加者を納得させる（？）百の理由」再録・2020 年加筆)

本誌は、「主催の責とならない中止即売会」を取り上げることにより、「即売会中止は、主催にとってどれだけ苦しいのか？」という命題を提起している。もともと、「主催の責となる中止即売会」に触れるつもりは無かった。

しかし、「主催の責となる／ならない」の線引きも必要だろう。明確な定義は難しいが、あえて「主催の責となる中止即売会」を取り上げることで、両者の「線引き」を考える「ヒント」ぐらいは提示したい。

「主催の責となる／ならない」両方を取り上げることで、本題となる「主催の責とならない中止即売会」への理解が、より深まることを願いたい。

【お断り】「第 1 部」では、筆者が「主催の責となる中止即売会」と見なしたものは、その具体名を挙げることはありません。具体名が伏せられている中止即売会は「主催の責となる中止即売会」、催事名を明記した中止即売会は「主催の責とならない中止即売会」とお考え下さい。

【第 1 部第 1 章】サークル数の少なさから中止した即売会

同人誌即売会の中止で、一番ありがちな理由。

参加 2 サークルの同人誌即売会に参加した経験からすると、サークルが少なくとも、それはそれで楽しみを見つけれられる。個人的には、**たとえ参加 1 サークルでも、開催する価値はある**と思う。

主催さんには、踏ん張って開催いただきたいのも本音だが、**最終的に決断するのは主催**。主催の決断には、渋々でも従わねばならない。

とりあえずこの手の中止即売会に対して、自分からは、「まあ、次は頑張ろうや…」と申し上げる程度にとどめたい。

ただ、一つだけ「おいこの野郎」と申し上げたい事例がある。

首都圏でとあるオンリーイベントが開催された。

「ジャンル内最大規模を目指す」と意気込み、積極的にサークルを募った。目標の 300sp には及ばないにせよ、40 サークル以上集まった。充分、オンリーイベントとして成立する規模である。

しかし、この主催は、「サークル数が少ないから」との理由で中止を決めた。

「元々 100 サークル集まらなかったら中止するつもりだった」

いや、そんな話初耳なんすけど…そういう基準を設けるのは主催が決める事、文句は言わんが…**そういう話は募集の時にしろよ…**

【第1部第2章】(自称)他イベントの妨害行為により中止した即売会

数年前、とある同人誌即売会(以下「中止即売会A」と称す)が、催事の中止を発表した。

この中止即売会、主催の中止声明に記された中止の理由が、極めて斬新だったw

同じ地域で開催された別の同人誌即売会(以下「即売会B」と称す)のスタッフが、中止即売会Aに乗り込み暴れ、ネット等での誹謗中傷を行ったというのである。

その結果、70sp 規模の即売会が、次回開催時には30sp に激減。次々回の開催を断念した。

つまり**即売会Bの妨害行為により、サークル数が激減し、中止に至った**というのである。

もしこれが真実ならば、憂慮すべき事態だ。

ただし、中止の理由説明は、あくまで「**主催の自己申告**」。そこは勘案する必要がある。

中止即売会Aの主催曰く、「即売会Bのスタッフが暴れた」という。しかし、Aの言う「即売会Bのスタッフ」は、確かに昔はお手伝いをしていたが、近年は、即売会Bにスタッフとしてではなく、**サークルとして参加している**。

中止即売会A曰く「暴れた」時も、中止即売会Aにサークルとして参加していた。

即売会Bのスタッフとしての近年の活動経歴は無く、サークルとしての活動と考えられるだろう。(この人物を、以下「**サークルC**」と称す)

中止即売会Aが「暴れた」と称する内容を見ると、**サークルCが、中止即売会Aの主催と口論**

になったことを指している。これが、中止即売会Aにより誇張されたとみるべきだろう。

そして、口論になったのは、即売会終了後の話。

中止即売会Aが、少し前に即売会Bの主催を出入り禁止にしておき、それに対し異議を申し立てた事で、ヒートアップして口論になったとの事だ。

(理由は流石に、中止即売会A主催に気の毒なので触れないが、中止即売会A主催の個人的事情とだけ申し上げておきたい。**イベントに関係無い話だ**。)

中止即売会Aは、これを即売会Bによる「イベント妨害」と訴えているが、もし**妨害の意図があるならば、開場時など、もっと早い時期に仕掛けるはずではないだろうか?**

中止即売会Aが、参加サークルからの異議申し立てに対し、「即売会Bのイベント妨害」と針小棒大に騒ぎ立てた構図が見えてくる。

そしてこの口論・騒動は、周囲大勢のサークルが目目の当たりにしていた。サークルさんが、ご自身の目で見て、どう判断したか。

この事件の翌年に開催された両即売会の状況が、サークルの判断を、雄弁に物語っていた。

「**イベント妨害**」と指弾された即売会Bは現状維持の100sp。指弾した側の中止即売会Aは、70spを30spにまで落とした。

この結果を踏まえ、中止即売会A主催は「即売会Bが妨害した結果だ」と吹聴した。しかし、それを信じた者は、どれだけいたのだろうか。

私も、かつて即売会の主催を務めた時、80sp 規模を 30sp 以下に急落させた、苦い経験を持っている。中止即売会 A と、同様の苦境を味わっている。

私の時も、アンチによる風評被害があった事は確かだが、それだけが原因ではない。サークル目線の欠如・要領の悪さ・スタッフの人心掌握に失敗したなど、**自分自身に帰する原因の方が大きい。風評は、数ある失敗要因の一つに過ぎない。**

サークルは、主催をよく見ている。

主催が至らないからこそ、サークルも集まらないのだ。しかるに、中止即売会 A 主催は、**失敗の原因全てを即売会 B に押し付け、自分自身に帰する原因からは目を背け続けている。**

だからこそ、失敗・中止の原因を他人に押しつけ、無理な理屈で「イベント妨害だ」と叫び続けたのだ。

【第 1 部第 3 章】 湿気を理由とした中止即売会

都内・五反田で開催される予定だった東方 Project オンリーイベント。梅雨の時期、6 月中旬の開催を予定。メロンボックスにチラシが設置されていた、との目撃情報もあり。

机・椅子はサークルが各自で持ち込みのフリーマーケット方式。東方オンリーには珍しく告知サイトが無い、など珍しい運営形態だったが、一番のポイントは「**会場名が明記されていない**」という事。

会場は「五反田駅から徒歩 10～12 分」としか記されていない。有志により、**会場候補を探索する為の地図まで作成され、【会場探索型】東方オンリー**として話題を呼んだ。

普通に考えて、こんな訳分らない、胡散臭い東方オンリーに、サークル参加しようとする人間は、誰もいないだろう。

だが、とある「勇者」なサークルさんが、怖いもの見たさで申し込んだ。最初はサークル参加を予定し

ていたが、「サークルのエントリーは終了した」との口実でサークル参加を断られる。

ならば一般参加したいので会場を教えて欲しいと食い下がるも、「イベント自体中止を決めた」と言われ撃沈した。

中止の理由は、「ちょっとこの季節の為か、**湿気が多すぎる**、と判断した為です」との事だった。

…ならば最初から 6 月にやらなきゃいいじゃん w

余りの斬新な中止理由に、再びネット上は話題騒然となった w

そして、同人誌即売会情報サイト「ケットコム」も早速動いた。中止の情報が反映され、こう記された。

「多湿の為開催中止」

「ケットコム」上も、普通は、単に「中止」とだけ書いて終わらせるのが通例だが、**わざわざ理由を書いた**ということで、適宜お察しください w